

記者発表資料

**鶴見地区・神奈川地区電線共同溝路面復旧工事で
「間接工事費実績変更方式」を試行**

昨今、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいない理由により、入札のとりやめや不調となる工事が相次いでいることから不調不落対策を試行しております。

今回発注する「鶴見地区・神奈川地区電線共同溝路面復旧工事」については、これまでに手続きを実施した同様の工事が不調となっており、標準的な積算と当該現場の見積り（実勢価格）に乖離が生じていると考えられることから、以下の試行を行います。

「間接工事費実績変更方式」

本工事は交通量が多い市街地で行う工事であり、資材運搬、交通規制において作業効率が低下し標準的な積算と施工実績に乖離が予想されるので、その妥当性を確認のうえ実績により共通仮設費（率分）を変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 神奈川県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局

技術管理課 課長補佐

技術調査課 建設専門官

横浜国道事務所 電話

計画課長

道路工事調整課長

あらい ただし

新井 正

よしみ せいだろう

吉見精太郎

045-311-2981 (代)

ひらいわ

平岩

やまさき

山崎

ただし

せいだろう

ようぞう

洋三

たかし

隆

(電話048-600-1331)

(電話048-600-1332)

(内線261)

(内線481)

間接工事費実績変更方式
について

対象工事の内容について

《間接工事費実績変更方式の工事概要》

- (1) 工事名 : 鶴見地区・神奈川地区電線共同溝路面復旧工事
- (2) 工事場所 : 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央3丁目地先他2箇所
- (3) 工期 : 契約の翌日から平成23年3月10日まで(予定)
- (4) 入札方式 : 一般競争入札 総合評価落札方式(標準Ⅱ型)
施工体制確認型、地域密着工事型、見積活用方式、難工事指定
- (5) 工事種別 : アスファルト舗装工事(B等級)
- (6) 工事内容(概要) : ○工事延長(下り) : 約1,030m
○歩道舗装工(平板) 約1,440m²
○支道打換工 約 140m²
○車道打換工 約 560m²
○道路附属施設工 1式
- (7) 実績により変更を行う工程「間接工事費実績変更方式」
・ 共通仮設費(率分)のうち、運搬費、安全費
- (8) 実績により変更を行う理由
本工事は、一般国道15号神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央3丁目地先の延長約400m及び一般国道1号横浜市神奈川区子新子安地先の延長約90mにおいて、電線共同溝の本体布設後の歩道舗装を施工するものです。また、横浜市神奈川区浦島丘地先の延長約540mにおいて、電線共同溝の本体布設後の車道打換を施工するものです。
当該施工箇所は、交通量が多い現道上を規制しながらの工事のため、車道・歩道利用者への影響が大きく、また、夜間での現道上の施工が中心となることから作業効率が低下する事が考えられ、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されるため、「間接工事費実績変更方式」を試行するものです。
- (9) スケジュール
○入札公告 : 平成22年 7月13日
○入札日 : 平成22年 8月30日